

鹿児島大学 教職大学院

鹿児島大学大学院教育学研究科 学校教育実践高度化専攻

教職大学院は、高度専門職業人としての教員の養成を目的とした専門職大学院です。指導力・展開力を備え、様々な教育課題に取り組む新しい学校づくりの有力な一員となり得る新人教員や、確かな教育理論と優れた実践力・応用力を備え、地域や家庭と連携しつつ学校において指導的役割を果たしうるスクールリーダーとしての中核的教員の養成を目指しています。



鹿児島大学教職大学院で学ぶと…

- 1 教職修士の学位を取ることができ、専修免許状が取得できます。
- 2 大学教員や修了生とのネットワークができ、大学院修了後も学び続けることができます。
- 3 3年間在籍し単位を取得（長期在学履修制度を利用）すれば小学校の教員免許を取得できます。
- 4 鹿児島県の教員採用試験の推薦制度を利用することができます。
- 5 一定の条件の下、奨学金の返還免除制度を利用することができます。

日本学生支援機構
教員になった者に対する奨学金の
返還免除制度（教員免除）



鹿児島大学教職大学院の特徴

教科の指導法、生徒指導・教育相談、学級経営・研修企画、特別支援教育などの能力を向上させることで、今よりも自信を持って教壇に立ち、活躍できるよう、研究者教員と実務家教員(学校現場や教育行政の経験者)とが連動して授業を担当し、大学が学校現場と連携して指導・支援していきます。

- 現職教員院生と学部卒院生が共に学ぶ1コース制
- 関心や探究課題に応じて履修できる3つの選択科目プログラム
- 共通科目5領域すべてにユニバーサルデザインの視点
- 学校現場について深く学ぶために鹿児島県内の様々な学校や関係機関で行う実習科目
- 3年間に在籍して小学校教員免許状を取得する長期在学履修制度

教職大学院の学びのイメージ



履修モデル

教科教育(教授-学習) 研究プログラム、学校研究プログラム

年次	1年次				2年次			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
共通科目	共通科目		共通科目					
	共通科目	共通科目	共通科目	共通科目				
	共通科目(集中講義)							
実習科目	高度化実践実習Ⅰ		重点領域実践実習Ⅰ	重点領域実践実習Ⅱ	高度化実践実習Ⅱ			
	開発実践実習Ⅰ				開発実践実習Ⅱ			
省察	研究成果報告書作成に関わる探究(教職課題研究Ⅰ・Ⅱ)							
選択科目	選択科目		選択科目					
	選択科目	選択科目	選択科目	選択科目				
	選択科目(集中講義)				選択科目(集中講義)			

授業科目一覧

【教科教育(教授—学習)研究プログラム】

- ・ 社会科・地理歴史科指導法の省察と開発
- ・ 特別の教科道徳の授業デザイン論
- ・ 次世代型教育コンテンツの開発Ⅰ・Ⅱ
- ・ 特別活動の理論と実践 他

【学校研究プログラム】

- ・ 学校の安全・安心と危機管理
- ・ グルーパダイナミクスからみた学級経営
- ・ 学校研究の手法と実践
- ・ いじめ・不登校への組織的対応 他

【特別支援教育プログラム】

- ・ 発達障害サポートシステム開発
- ・ 発達障害の医療と支援
- ・ 障害児の心理的理解と支援
- ・ 知的・発達障害指導法 他

実習科目

- 高度化実践実習Ⅰ・Ⅱ
- 重点領域実践実習Ⅰ・Ⅱ
- 開発実践実習Ⅰ・Ⅱ
- 特別支援教育高度化実践実習Ⅰ・Ⅱ
- 特別支援教育重点領域実践実習Ⅰ・Ⅱ
- 特別支援教育開発実践実習Ⅰ・Ⅱ

省察科目

- 学校教育におけるデータ分析とその活用
- 教職課題研究Ⅰ・Ⅱ
- 特別支援教育教職課題研究Ⅰ・Ⅱ

選択科目

- 教科教育(教授—学習)研究プログラム
- 学校研究プログラム
- 特別支援教育プログラム

共通科目 5領域

- 教育課程の編成・実施に関する領域
- 教科等の実践的な指導方法に関する領域
- 生徒指導・教育相談に関する領域
- 学級・学校経営に関する領域
- 学校教育と教員のあり方に関する領域

- 【教育課程の編成・実施に関する領域】
- ・ 学校を基盤とするカリキュラム開発
- ・ 特色ある教育課程とそのデザイン
- ・ 特別支援教育とカリキュラム・マネジメント

- 【教科等の実践的な指導方法に関する領域】
- ・ 教材研究, 指導方法, 評価に関する実践的課題とその改善
- ・ 情報活用と授業デザインの実践
- ・ 特別支援教育の授業デザイン

- 【生徒指導・教育相談に関する領域】
- ・ 教育相談の方法と実践
- ・ 学校における生徒指導の実践と課題
- ・ 発達障害児の心理臨床

- 【学級・学校経営に関する領域】
- ・ 学級経営の実践と課題
- ・ 自律的学校経営の理論と実践
- ・ 特別支援教育と学校経営

- 【学校教育と教員のあり方に関する領域】
- ・ 学校教育の役割と教師の成長
- ・ 鹿児島における学校教育と教員のあり方
- ・ インクルーシブ教育における教師の専門性

教科教育(教授—学習)研究プログラム

各教科の授業設計や実施、評価に代表される授業デザインの開発および授業研究のテーマと手法といった特定の教科についての指導のあり方を中心とした内容です。

メッセージ



三角 日南
令和6年度入学

私は、教師になることを目指すにあたり、実践力が不足していると感じ、教職大学院への進学を決めました。教職大学院では、学部卒院生と現職教員の院生が、講義や実習を通して共に学び合うことができます。院生の校種や専門教科も様々であるため、多様な視点から日々学ぶことができます。

講義では、課題について院生同士でディスカッションしたり、プレゼンテーションをしたりして、学びを深めています。

また、実習については高度化実践実習や開発実践実習、重点領域実践実習等が設定されており、授業づくりや組織的業務、離島・へき地教育、特別支援教育等、幅広い内容を実践的に学ぶこともできます。

このような充実した環境で学ぶ中で、実践力が着実に身に付いていることを実感しています。

学校研究プログラム

本プログラムは2種類の内容から構成されています。第一に学校の組織・経営および校内研修の運営に関する内容です。第二に学習、学力、特別活動、生徒指導に関する内容です。

メッセージ



重信 圭祐
(現職教員) 令和6年度修了

「大学院では、どんなことを教えてくれるんだろう」そんな受け身な気持ちで、大学院での生活が始まりましたが、次第に違和感を覚えるようになりました。それは、答えのない問いを考える中で、一層大きくなっていました。しかし、講義や院生との対話をとおして、気付いたことがあります。それは、学びとは「答えを教えてもらうだけではない」ということです。違和感の正体は、自分の「観」が刺激された瞬間だったのです。これまでの経験を振り返ると、重要なことは誰かが教えてくれました。私は、誰かに「教えてもらう」

という学習観しかもっていなかったことに気付くことができました。

大学院での学びをとおして、「学びは自分たちで創るもの、つかみにいくもの」という学習観をもつことができたように思います。このように、大学院では、先生方の丁寧な御指導のもと、自分自身の様々な「観」を振り返り、院生同士で交流し、再構築していく経験、いわゆる「省察」する経験を積み重ねることができました。

ぜひ、一緒に学びを創っていきませんか。

特別支援教育プログラム

特別支援教育および発達障害に関する知識と指導方法に関する内容です。また、特別支援教育のコーディネーター、特別支援学校や特別支援学級のあり方についても学びます。

メッセージ



山下 ひとみ
(現職教員) 令和6年度入学

特別支援学級担任をしながら、学年や特性が異なる子供たちの学びや自立活動、生活単元学習、日常生活の指導、特別支援教育コーディネーターの仕事など、私はどれだけのことができていのだろうか、もっと学ぶ必要があるのではないかと思ったのが、大学院に入学するきっかけでした。大学院では、特別支援教育についてプロフェッショナルな先生方がたくさんのことを教えてくださいました。附属特別支援学校や小学校などにおける実習では、私自身

の子供への支援に対する意識を変える新たな発見もありました。

教職大学院の2年目は一年次で学んだ知識や経験を活かし、現籍校で自立活動の指導についての探究を進めていく予定です。特別支援教育の土台となる自立活動が子供たちの教育的ニーズを改善・克服するための活動となるように学びを続けていきたいと思っています。

鹿児島大学教職大学院の概要

○ 修了年限	2年
○ 修了要件	46単位以上
○ 学位	教職修士（専門職）
○ 入学定員	20名
○ 取得免許	小学校・中学校・高等学校・幼稚園教諭専修免許状、特別支援学校教諭専修免許状（知・肢・病）、養護教諭専修免許状 ※専修免許状の取得には条件があります。
○ 長期在学履修制度 （小学校教員免許取得プログラム）	教職大学院に3年間在籍しながら、小学校教諭の免許状を取得できる制度です。小学校教諭の免許取得に必要な学部の授業（教育実習を含む）と、修了に必要な大学院の授業を計画的に履修することで、課程を修了することができます。

メッセージ



長期在学履修制度を利用して

有村 龍人
令和6年度修了

私は学部時代、小学校での学校支援ボランティアに参加した経験や教育実習での経験がきっかけとなり、教育を専門的に学びたいと強く思い、さらに小学校教員免許を取得したいという思いから教職大学院への進学を決意し、長期在学履修生として教職大学院に進学しました。

大学院での3年間の学びの中心は「対話」でした。

大学院の先生方、現職教員、ストレートマスターの方々、そして実習先の先生方との対話を通じて、私の学びは深まりました。そして、専門的な指導を受ける中で、教育の実践と理論を往還させる重要性を実感しました。

また、長期在学履修制度では、教育学部の講義や教育実習を学部生と共に受講することができ、教育学部出身ではない私にとって非常に有意義な経験となりました。

みなさんも、ぜひ教職大学院で学びませんか？

進学説明会

以下の日程でオンラインによる進学説明会を実施します。

第1回：令和7年 5月 8日(木) 第2回：令和7年 7月 10日(木)

第3回：令和7年 9月 11日(木) 第4回：令和7年 11月 13日(木)

第5回：令和8年 1月 8日(木)

詳しくは教職大学院ホームページをご覧ください。(二次元コード参照)



オープンクラス

鹿児島大学教職大学院では、授業の見学を随時受け付けています。事前に申し込みが必要です。詳しくは下の問合せ先に御連絡ください。

入試日程等

1 募集要項

学生募集要項は、6月上旬公表予定です。
詳細は教職大学院ホームページでご確認ください。

2 入試日程

A日程：令和7年10月25日(土) B日程：令和7年12月20日(土)

C日程：令和8年 2月 11日(水)祝日

※A日程、B日程で募集定員を満たした場合は、C日程による入試は行いません。

お問い合わせ

募集要項請求先

国立大学法人
鹿児島大学

〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元 1-20-6

鹿児島大学教育学部教務係

TEL：099-285-7713 FAX：099-285-7735

E-mail：edukyomu@kuas.kagoshima-u.ac.jp

URL：http://www.edu.kagoshima-u.ac.jp/